

# 2012年3月期 第1四半期業績概要

2011年 7月29日

アンリツ株式会社  
代表取締役社長 橋本 裕一



東証第1部:6754  
<http://www.anritsu.com>



# 注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的  
事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を  
含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関  
する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能  
性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、  
さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知  
おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、  
米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向  
や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが  
引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートな  
どです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、  
法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、  
将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

---

# 目次

---





1. 事業概要
  2. 2012年3月期第1四半期 連結決算概要
  3. 2012年3月期 通期見通し
  4. 配当について
  5. モバイルブロードバンドの進展と計測ビジネス
- Appendix: 当社事業セグメントの概要
-

# 1. 事業概要 - 事業セグメントの呼称と事業内容 -

セグメント	サブセグメント	事業内容
計測	モバイル市場	LTE、3Gなどの携帯端末、チップセットの開発・製造・保守用テストなど
	ネットワーク・インフラ市場	光・デジタル・IP通信機器の開発・製造用テスト、有線および無線ネットワークの敷設・保守用テスト、サービスアシュアランスなど
	エレクトロニクス市場	無線設備、電子部品等の開発・製造用テスト、汎用テストなど
産業機械		食品・薬品・化粧品用重量選別機、異物検出機、電気機器プリント板向け精密計測など
情報通信		映像配信機器、通信機器、IPスイッチとその応用システムなど
その他		光デバイス、物流、厚生サービス、不動産賃貸など

2011年3月期 売上比率	計測 69%	産業機械 16%	情報 5%	その他 10%
モバイル 約30%	ネットワーク・インフラ 約40%	エレクトロニクス 約30%		

## 2. 連結決算概要 - ポイント -

セグメント	2012年3月期 第1四半期の状況	実績
計測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォン製造用計測器のビジネス獲得</li> <li>・LTE開発用計測器の需要増大</li> <li>・無線インフラ向け建設・保守用計測器が堅調</li> </ul>	
産業機械	日本、海外ともに堅調に推移	
情報通信	顧客の投資、当社ビジネスともに前年並み	
その他	前期堅調に推移した映像配信市場向け光デバイスの需要は一巡	

## 2. 連結決算概要 – 第1四半期業績サマリー –

### 受注が伸張、大幅増益

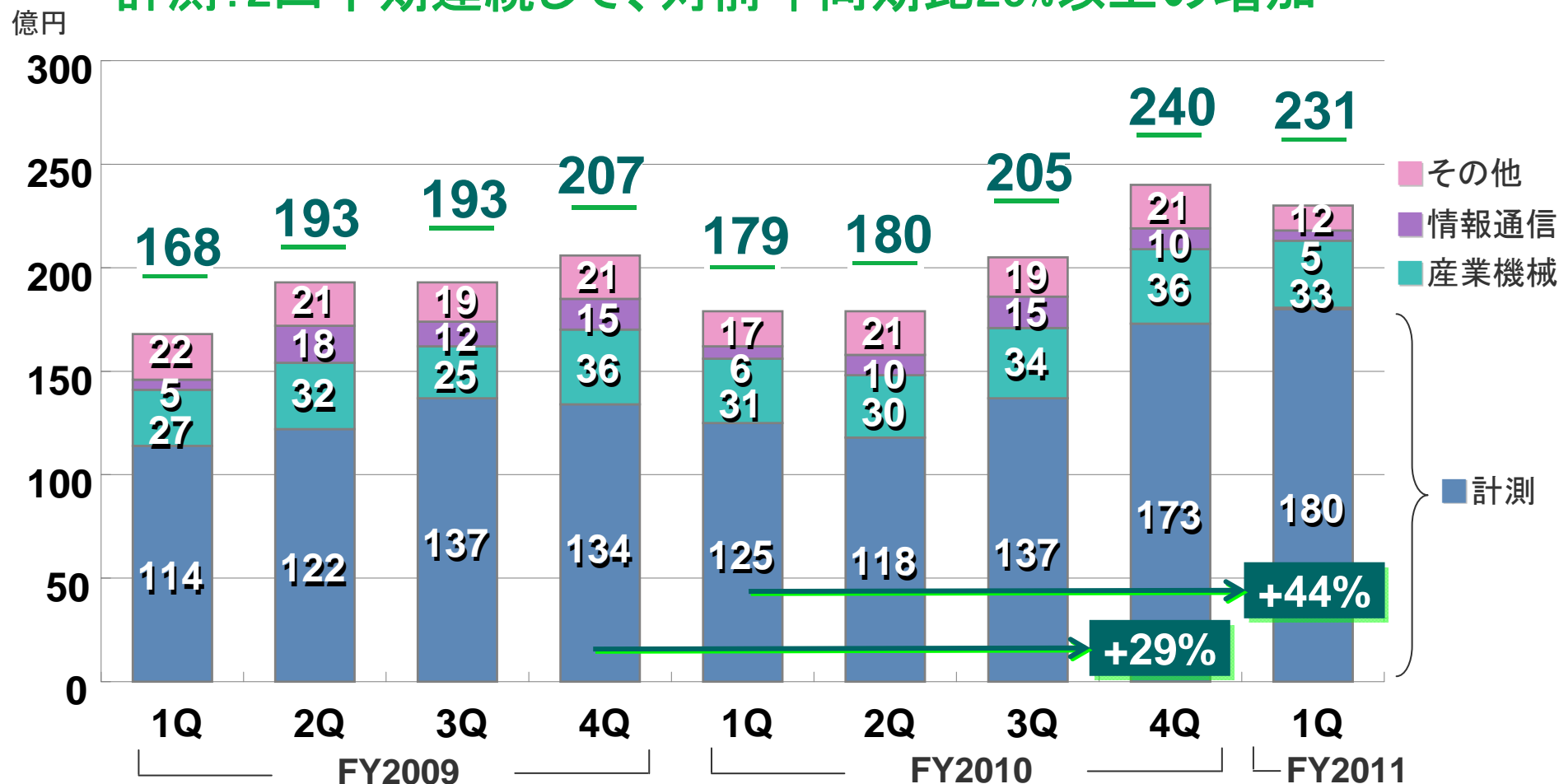
(単位: 億円)

	前第1四半期 (4-6月)実績	当第1四半期 (4-6月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	179	231	52	29%
売上高	168	195	27	16%
営業利益	9	22	13	144%
経常利益	3	20	17	683%
税引前当期純利益	2	20	18	963%
当期純利益	1	19	18	-
フリーキャッシュフロー	42	32	△10	△24%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## 2. 連結決算概要 - 受注高推移 -

計測: 2四半期連続して、対前年同期比25%以上の増加



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入、受注高 = 当四半期末受注残高 + 当四半期売上高 - 前四半期末受注残高  
 (受注残: 各四半期末の為替レートから換算)

## 2. 連結決算概要 – 事業別売上高・営業利益 –

### 計測事業がけん引

(単位:億円)

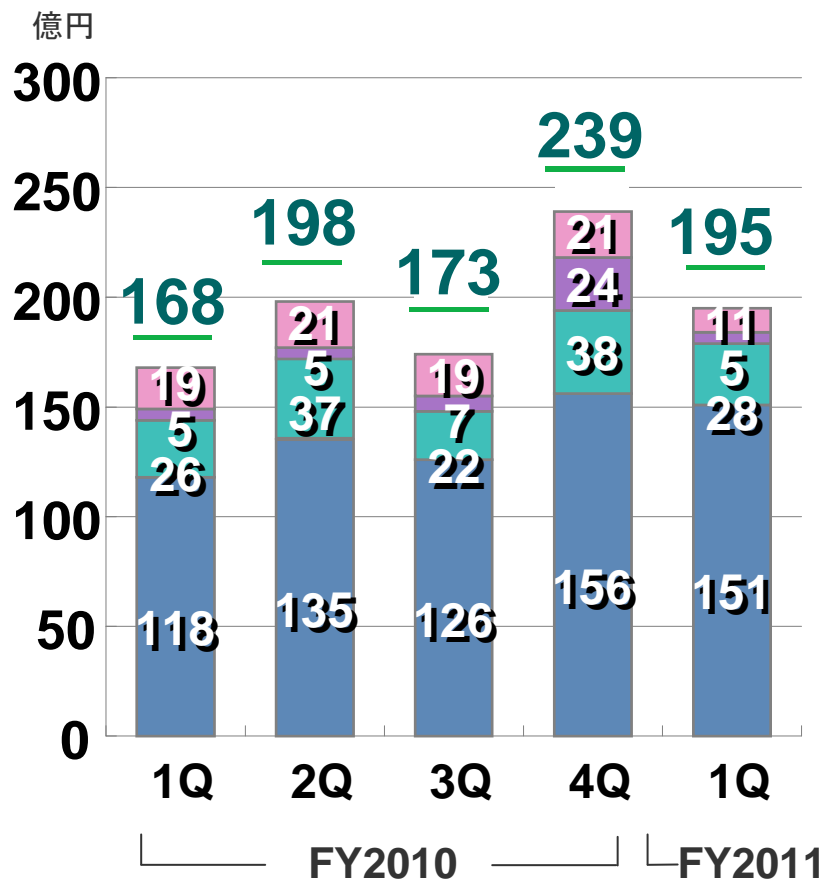
		前第1四半期 (4-6月)実績	当第1四半期 (4-6月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
計測	売上高	118	151	33	28%
	営業利益	7	24	17	254%
産業機械	売上高	26	28	2	9%
	営業利益	0	△1	△1	–
情報通信	売上高	5	5	0	△6%
	営業利益	△2	△3	△1	–
その他 (含:内部消去)	売上高	19	11	△8	△40%
	営業利益	5	1	△4	△69%
合計	売上高	168	195	27	16%
	営業利益	9	22	13	144%

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

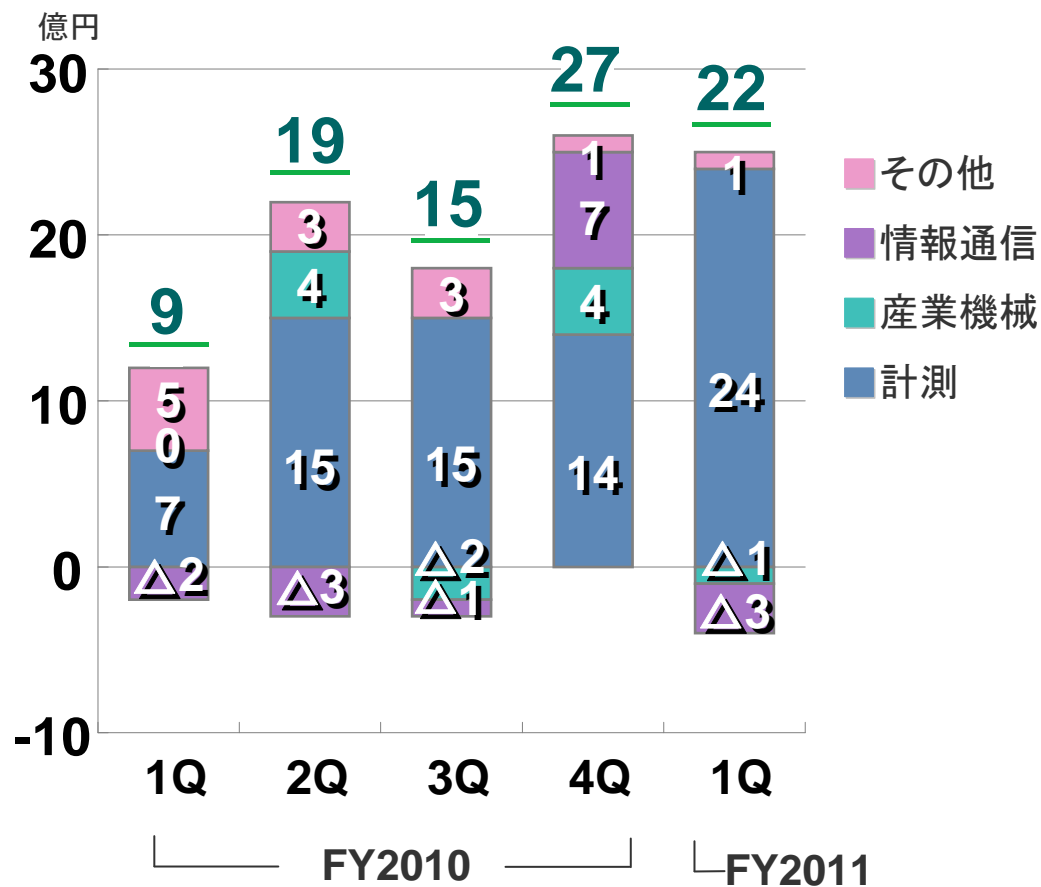


## 2. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業損益 -

Q1で営業利益率11%を達成



連結売上高

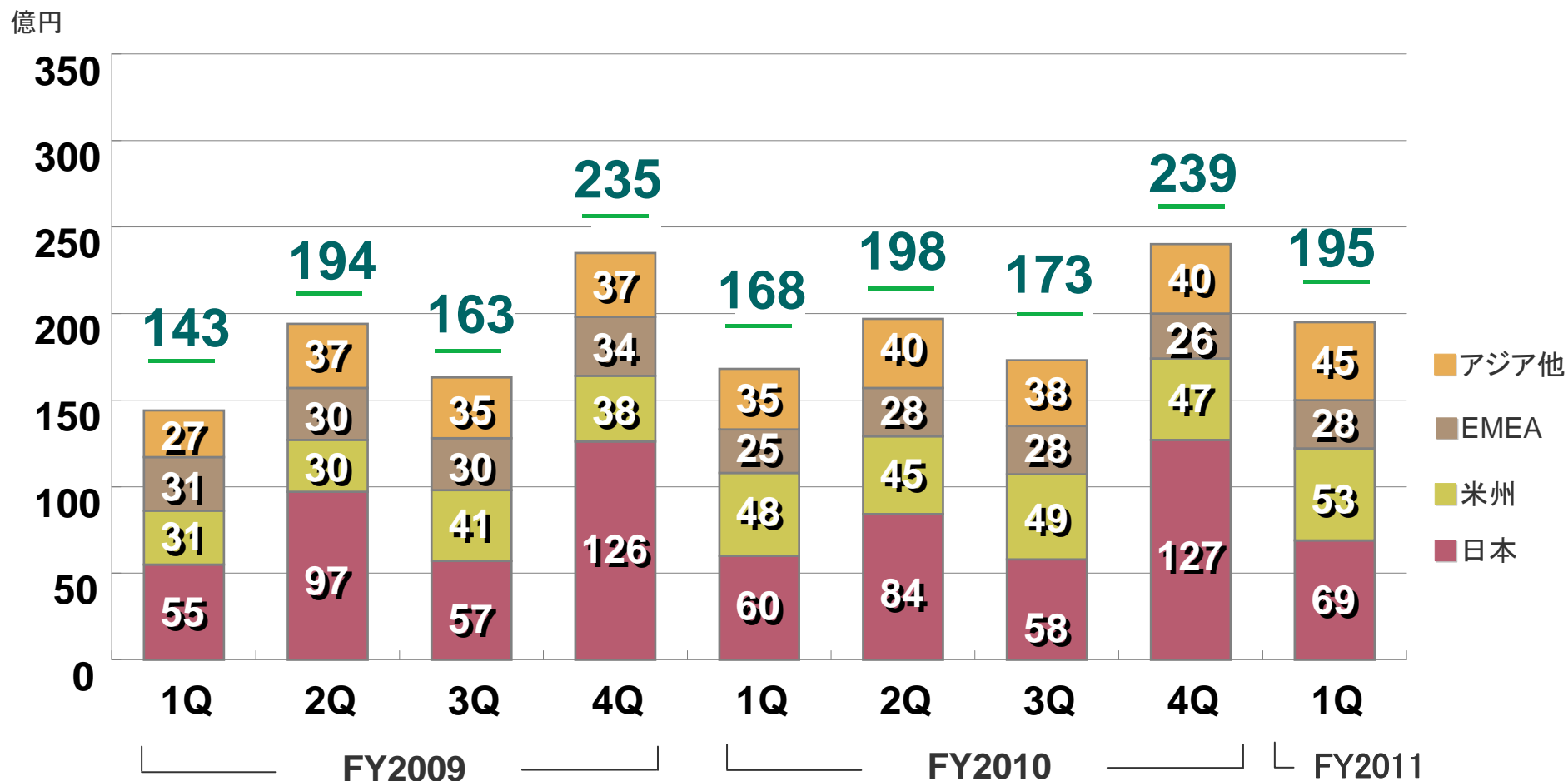


連結営業利益

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## 2. 連結決算概要 - 地域別売上高推移 -

### 全地域で前年同期比プラス



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## 2. 連結決算概要 - 営業外・特別損益 -

(単位:百万円)

		前第1四半期 (4-6月)実績	当第1四半期 (4-6月)実績
<b>営業利益</b>		<b>914</b>	<b>2,234</b>
	金融収支	△ 144	△ 100
	為替差損益	△ 514	△ 164
	その他	△ 4	11
<b>営業外損益計</b>		<b>△ 661</b>	<b>△ 254</b>
<b>経常利益</b>		<b>253</b>	<b>1,980</b>
	投資有価証券評価損	△ 0	△ 20
	資産除去債務会計基準 の適用に伴う影響額	△ 68	-
<b>特別損益計</b>		<b>△ 68</b>	<b>△ 20</b>
<b>税引前利益</b>		<b>184</b>	<b>1,960</b>

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

## 2. 連結決算概要 - キャッシュフロー -

内訳

単位:億円 △減少

着実にキャッシュフローを創出

第1四半期

①営業CF: 35億円

②投資CF: △ 3億円

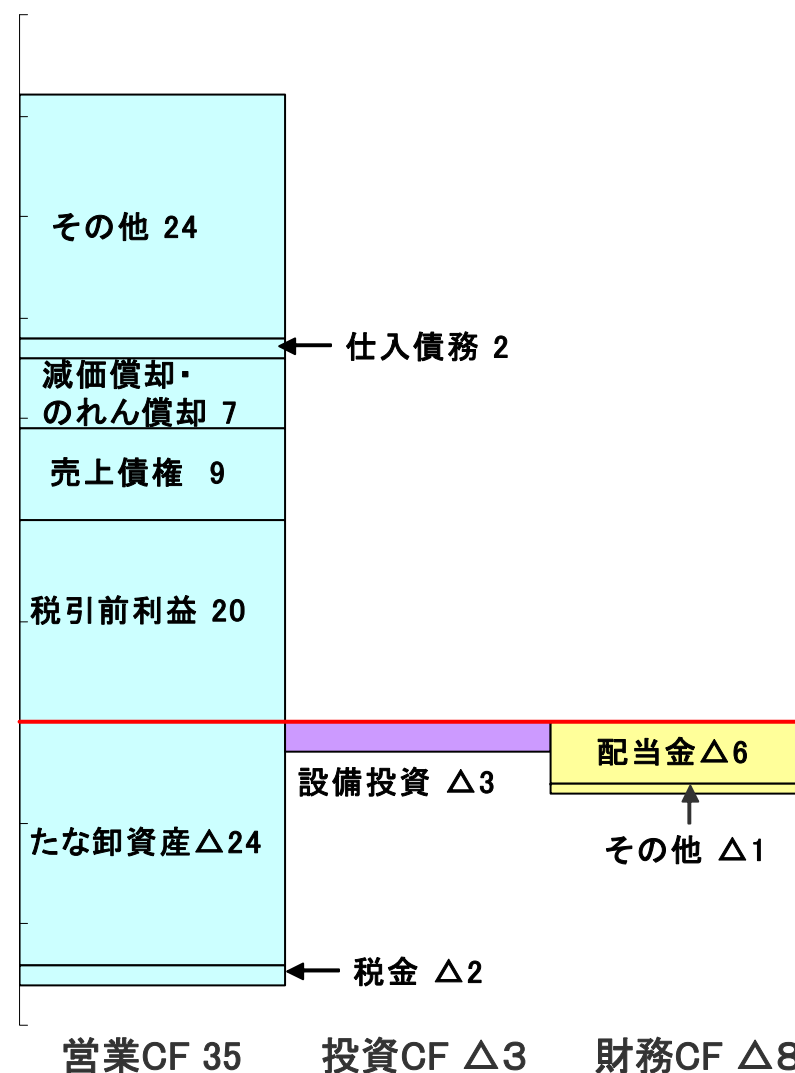
③財務CF: △ 8億円

フリーキャッシュフロー

(①+②): 32億円

現金同等物期末残高

303億円



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

### 3. 2012年3月期 通期の見通し(連結)

上期、通期ともに上方修正

(単位：億円)

		FY2011				FY2010	
		H1 前回予想	H1 今回予想	通期 前回予想	通期 今回予想	H1実績	通期実績
売上高		365	430	800	865	366	779
営業利益		15	55	62	110	28	70
経常利益		11	50	55	100	18	54
当期純利益		6	35	38	70	10	31
計測	売上高		330	565	630	253	535
	営業利益		57	50	98	22	51
産業機械	売上高		67	140	140	63	123
	営業利益		2	7	7	4	7
情報通信	売上高		8	40	40	10	41
	営業利益		△6	0	0	△6	1
その他	売上高		25	55	55	40	79
	営業利益		2	5	5	8	12

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

2012/3月期から産業機械事業に、その他セグメントの精密計測事業を統合しています。

(参考) 想定為替レート: 1米ドル=80円

1ユーロ=110円

## 4. 配当について

年間配当：

8円 → 10円(うち、中間配当5円) に増配

### 配当方針

株主の皆さまへの利益還元策として、連結当期純利益の水準に応じて、連結純資産配当率(DOE)を上昇させることを基本に、事業環境などの諸般の事情を総合的に考慮して決定しています。

## 5. モバイルブロードバンドの進展と計測ビジネス

### (1) モバイルブロードバンドの進展

- ① 新アプリケーション、サービスの充実と普及
- ② スマート端末の新モデル販売競争
- ③ 携帯加入者数の増加

モバイルデータトラフィックの急激な増加

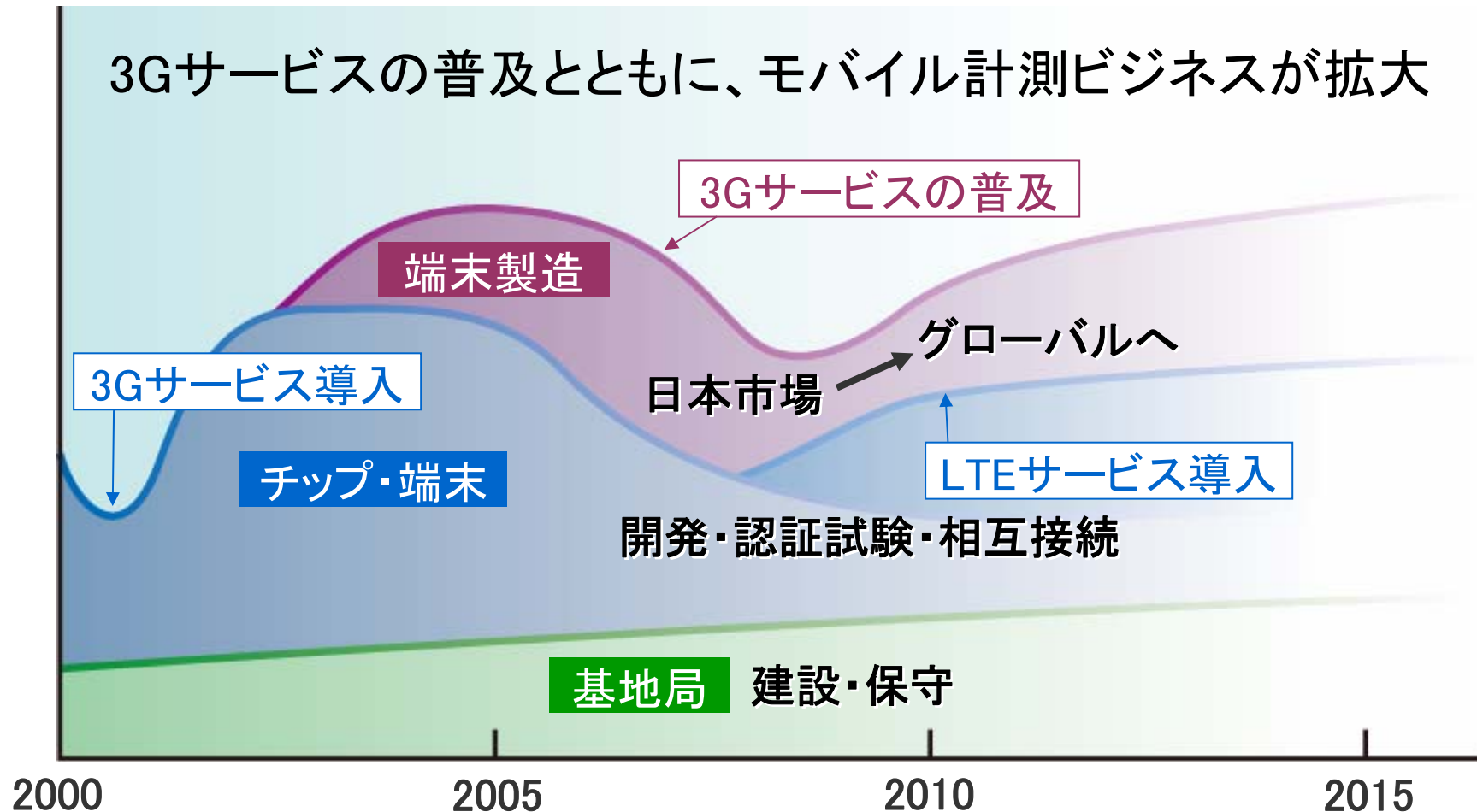
モバイルネットワークのブロードバンド化

- ・3G/LTEの進展
- ・W-LAN、WiMAXなどの併用



# 5. モバイルブロードバンドの進展と計測ビジネス

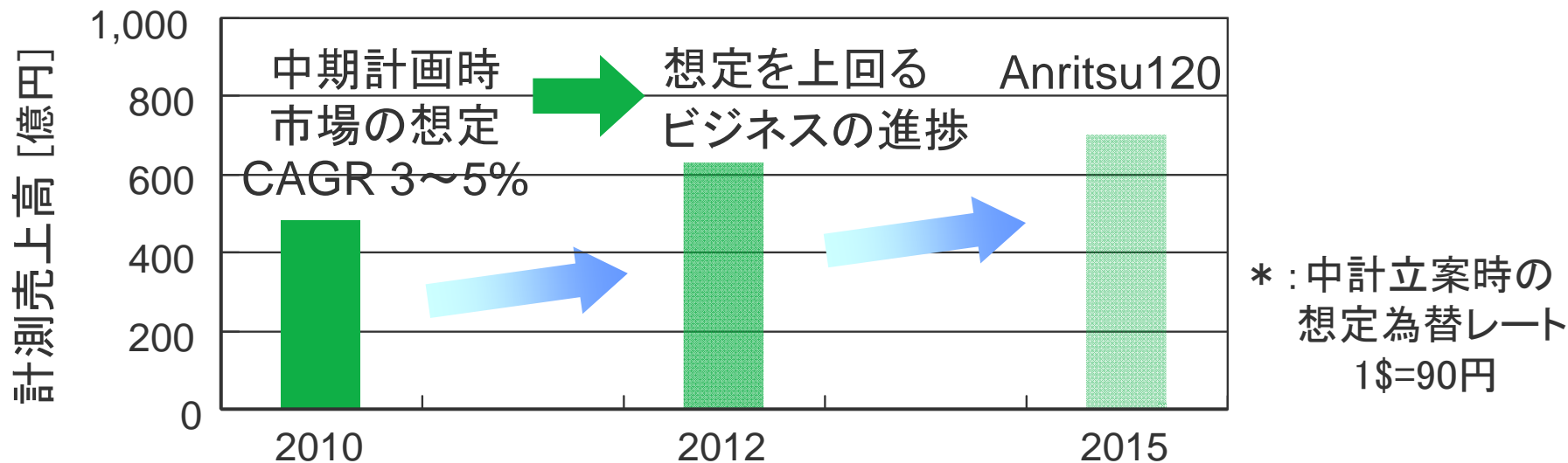
## (2) モバイル計測ビジネスの過去・現在・未来





## 5. モバイルブロードバンドの進展と計測ビジネス

### (3) モバイルブロードバンド進展による計測ビジネスの伸張



### モバイルブロードバンドにドライブされる計測ビジネス

#### 端末の開発・製造

- ◎チップ
- ◎端末
- ◎システム

#### ネットワークのQoS

- ◎基地局
- ・モバイルバックホール
- ・メトロ/コアネットワーク
- ・サービスアシュアランス

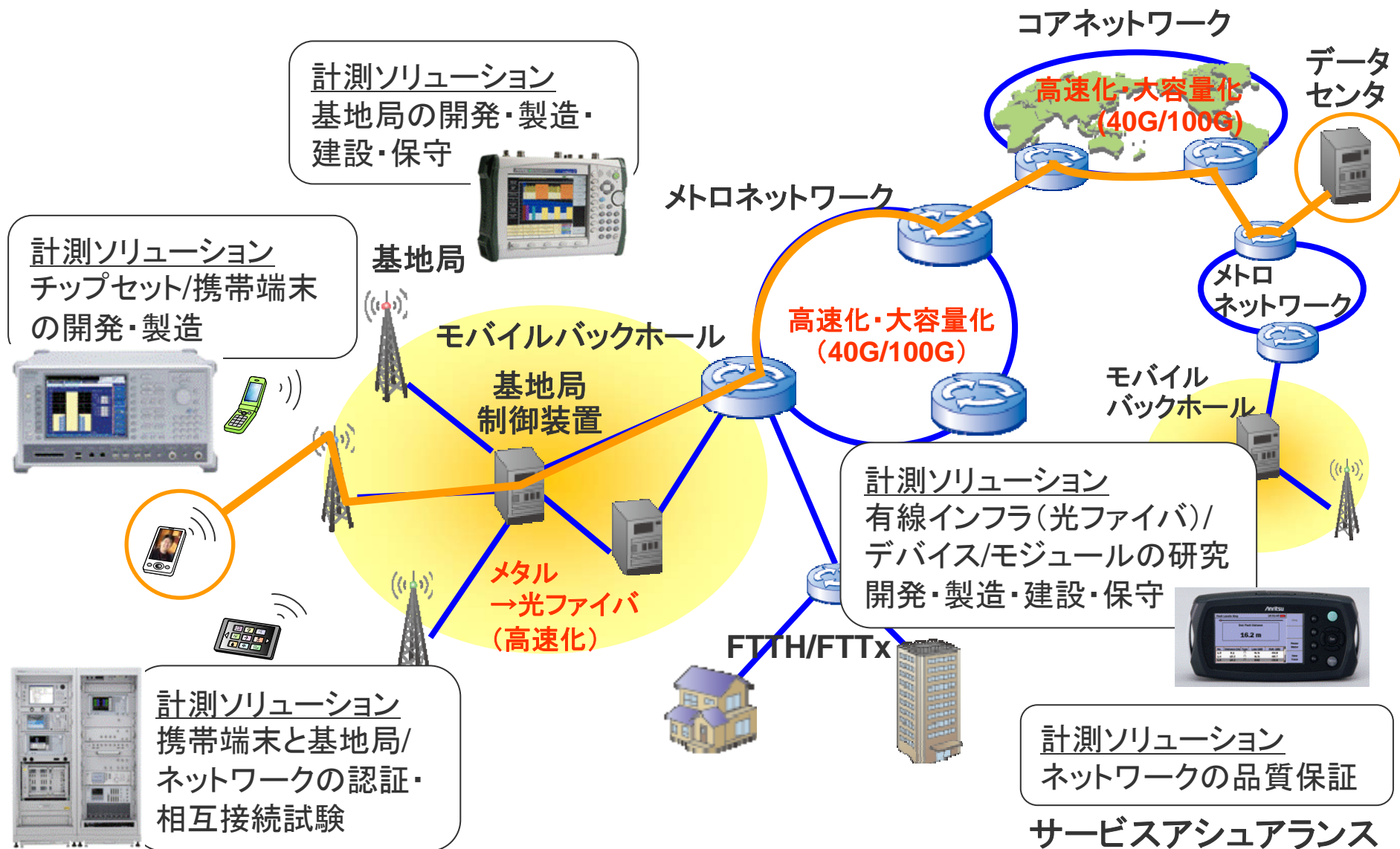
#### デバイス/モジュール

- ・エレクトロニクス

◎: 今期、収益に貢献しているビジネス

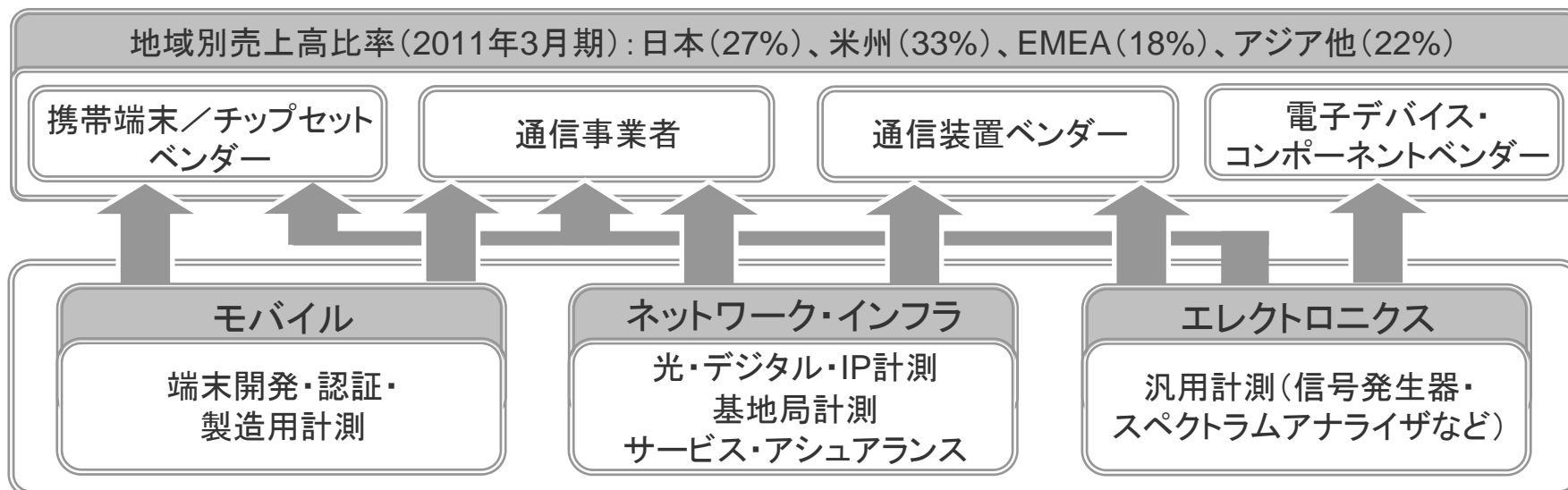


# Appendix (1-1) – 計測事業 ビジネス領域 –

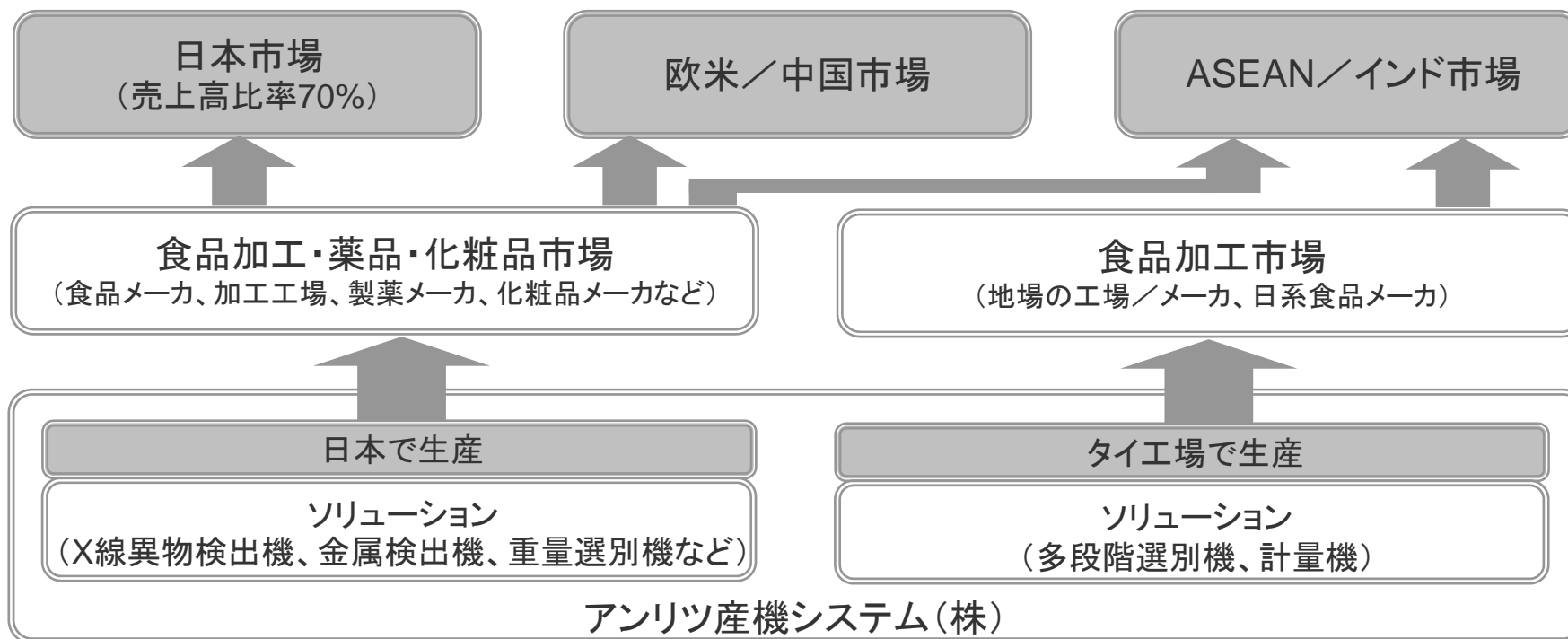


# Appendix (1-2) – 計測事業 顧客とマーケットポジション –

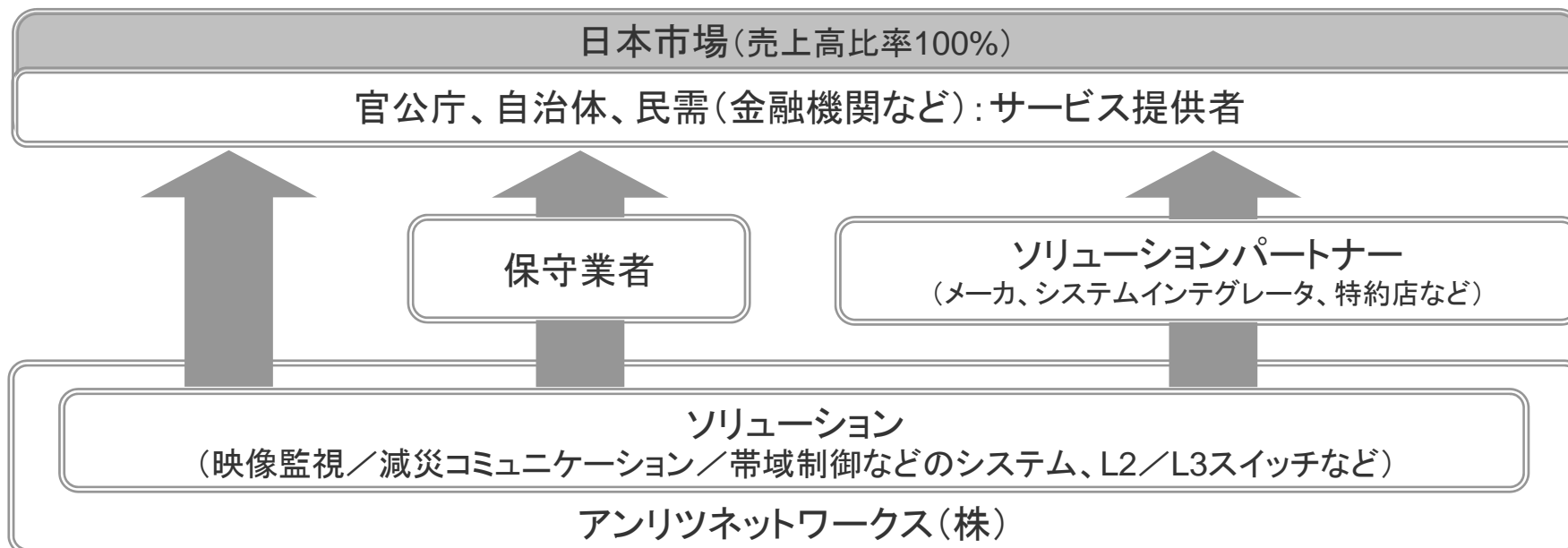
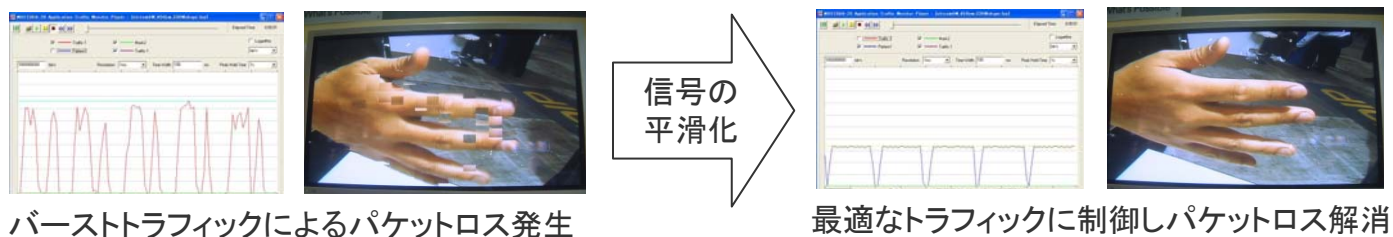
	モバイル市場			ネットワーク・インフラ市場		エレクトロニクス市場	
	R&D	製造	保守	R&D	建設・保守	R&D	製造
フォーカス エリア	LTE (端末開発・ 認証試験)	3G/LTE スマートフォン	携帯端末の 修理・保守	40Gbps / 100Gbps 光伝送	無線基地局 光ファイバ敷設 ネットワーク 品質保証・管理	通信用電子部品 / モジュール (携帯端末 / タブレット端末 / カーエレクトロニクス / 家電など) 無線基地局	
主な顧客	携帯端末 / チップセット ベンダー	携帯端末 ベンダー EMS	通信事業者 携帯端末 ベンダー	通信事業者 通信装置 ベンダー	通信事業者 通信建設業者	電子デバイス / コンポーネント ベンダー、通信装置ベンダー、 携帯端末ベンダー など	
グローバル ポジション (当社推定)	LTE開発用 計測市場 シェア50%	3G携帯端末 製造用計測 市場 No.3	日本市場 No.1	光・デジタル 計測器 No.3	無線基地局用 ハンドヘルド 計測器 シェア70-80%	スペクトラムアナライザ、 信号発生器 No.3	



# Appendix (2) – 産業機械事業 –



# Appendix (3) - 情報通信事業 -



**Anritsu**

---

Discover What's Possible™